



▼滝野船頭から 故 布村六実さんへの追悼文をいただきました。

「布さんは遠いところに」

布さんの携帯に電話しました。いつもはすぐに出てくれるのに長い呼出音の後に奥さまが泣きながら話してました。「すぐに連絡と思いましたが携帯が見つからず、ごめんなさい。ごめんなさい」と何度も繰り返してました。

午後の早い時間に下風呂に着いた勸進丸は、岸壁でお酒を飲んでいました。無事到着の知らせを電話し、帰ったらいっしょに飲もうと話した日の夕方に布さんは亡くなってしまいました。一月たった今でも現実味がなく週末はまた一緒に飲めるような気がします。

布さんとセーリングを始めたのがいつ頃からだったのかははっきりしませんが、一番古い写真は2002年の12月にありました、JAZZチームがレーザーの28からYAMAHA31に変えてから間もなくだったと思います。落ち着いた人柄とゆっくりしたお酒の飲み方で、狭い船の中でも気遣いなく付き合いのできる人でした。

「連れて行ってくれるなら、いつでも」と言ってましたが、時々「船、買うかな」とどこかにオーナースキッパーになりたい気持ちもあったようです。

JAAZのメンバーでも遠出は勸進丸という関係が何となく出来あがり、松前小島や海峡沿いの小さな漁港にもたくさん泊まっていた、JAAZが解散するとそのまま勸進丸へ移るのは自然な流れです。

夏のお盆休みにも二人で奥尻を目指しました、松前から奥尻に向かうには最高の風と天気でしたが、天候悪化が何となく気がかりで函館に戻りました。今にして思えば天気だけではなく一週間のクルーズは無理だよと何かを教えてくれたのかもしれません、下風呂も「今回はちょっと見合わせ」というのは船の上で迷惑かけたくないという思いからでしょう。

函館に戻る勸進丸でサバの水煮にワサビをたっぷり入れてビールを飲んでます。粹人、布村六美氏が手帳を出して何か書き始めました。

船頭 何か一句できたの
布さん 爺様（ジサマ）のヨットシリーズというのがあって。

船頭 聞かせてよ、
布さん 「青い空 青い山脈 青い海 白い航跡 爺様のヨット」

船頭 結構ですねー もうないの
布さん 今回は残念ながら奥尻島には行けなかったけれど その思いをのせて

「沖はるか 爺様二人ヨット行く 仲間とふれあう奥尻島へ」

船頭 残念でしたねー 来年に期待しましょう。辞世の句か絶句というのか、スマホのビデオの中に残っています。

来年に期待しても布さんはもういません。

お通夜の席で奥さまから「うちの人ヨットで何をしていたのですか」と聞かれました。

行き先や友達の名前が時々出てくるけど何をしていたのか全く分からないというのです。大笑いの楽しい時間を過ごしていましたよ、と話すとき安心したような様子で、写真をまとめて作ってあげましょうと約束しました。布さんが写っている写真をパソコンから探すと200枚以上になり動画も入れてDVDを作りました。1週間ほどで出来あがり

ましたが、お別れから一月足らずのまだまだ気持ちの整理がついていない時期は

どうかと思いためらっていました。2日の日曜に奥様から電話があつてその話を

するとすぐに見たいということでお線香上げながらお宅におじゃましてきました。

ヨット上の布さんを始めて見たそうです。

お天気次第、風次第ですが故人に託された散骨を16日か月末に考えていました。

姿も声も聞こえてきませんが、布さんはこれからもずーっと勸進丸のクルーです。

勸進丸 船頭 滝野康介

合掌

▼South Wind 井口さんに佐井レースのレポートいただきました。

第39回カリフォルニアカップ津軽海峡横断レースに参加して

9月18日朝8時佐井をスタートするレースなので17日に佐井へ向かいました。

大間タクシーにジャンボを予約していましたが、オーナーが用意してくれたテントを張りコンロをセッティングして火を起こす準備が整うと、ジャンボタクシーと温泉をキャンセルしてBBQが始まりました、ほとんどの艇が民宿泊まりで佐井の港は静かでゆったりとBBQが楽しめました。軽く雨も降りましたがテントのおかげで問題ありません。

食事のあとはNYXで速鳥メンバーとカラオケを楽しみ気が付くと朝です。

予報では風が弱く我慢のレースかと思われましたが、弱かったのは最初のうちで函館へ向けて上りで風が強くなってジブ交換か？メインのリーフか？でしたが、メイン前半分に裏風が入って面積的にワンポイントリーフ状態でしたので、きちんとリーフすることにな



り、レース後半はクローズ目一杯でリーフのタイミングも良く、義務付けられた？ファーストホームを何とか獲得出来、目出度し 目出度しです。

パーティーは金森倉庫群 『みなとの森』ビアレストランで行われ佐井で行われるパーティーとは一味違い生ビールで楽しく美味しく頂きました 函館ヨット協会とスタッフの皆さん、参加艇の皆さんにも感謝です。

パーティーの抽選で当たったLEDヘッドランプ、明るくて重宝しています、こちらも有難うございます。

来年は第40回の節目に当たり、佐井フィニッシュになりますので、皆で佐井レースを盛り上げて行きましょう。

South Wind 井口龍太

▼舵社取材記念Wハンドヨットレース

24日選手会、25日レースが無事終了しました。Wジイジ、W素人、W酩酊等々、いろんなWが参加しました、初めての組み合わせでいきなりレースの艇も見受けられました。

W素人とは言え、W酩酊に負けたことは悔しい限りです。

詳細については次号でお伝えいたします。

▼連絡事項

最近、自分にメールが来ないとよくいわれます。何度も案内していますが、総務委員会でメールアドレスを把握していない方にはメールは行きません。

以前には来ていた方もPCのトラブル等で現在把握している方にしかメールは行きません。

艇長の方クルーの方にお知らせください、メール配信希望の方は以下のメールアドレスにメールをお願いいたします。

wing-y-31s@ncv.jp